



あなたがたの父が憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深い者となちなさい。

(ルカによる福音書6章36節)

Therefore be merciful, just as your Father also is merciful. (Luke 6:36)



学校創立 記念講演会

神の前に謙る

同志社大学神学部教授
キリスト教文化センター所長

村上みか先生

九州学院では1月19
日を学院の創立記念日
(1910年同日設立
認可、開校は1911
年)として定め、毎年こ
の時期に創立記念講演
会を行っています。

講師に同志社大学神学
部教授神学博士でキ
リスト教文化センター
所長の村上みか先生を
お招きして「歴史を生
き抜いた人々」ルター
と新島襄」の演題で
中高生・教職員にご講
演をたまりませんでした。

村上先生は「16世紀
に現在のドイツで宗教
改革を行い、九州学院
と密接な関係性がある
ルターと、19世紀後半
に渡米し、帰国後に同
志社英学校を設立した
新島襄には共通するこ
とがあります」と語ら
れました。ペストの大
流行による社会混乱期
にあったヨーロッパで
葛藤の日々を送ってい
たルターと、国禁に反



対したルターと、国禁に反

して渡米した際に多く
のキリスト教徒の熱い
祈りと支えに守られた
新島襄。時代も場所も
異なる2人の共通点は
自らの内面にあるもの
を認め、神の前に謙つ
て考え、行動に移して
いったことでした。

まとめで村上先生
は「ルターと新島襄、極
めて困難な状況のなか
でまず徹底して神さま
の前に謙つたこと、そ
してその点を踏まえて
『世の中で自由に良く
生きた』ことです。皆さ
んもまず考えることが
ら始めてください」と
熱弁されました。

なお、中高1年生は
初代院長・遠山参良先
生について学習する時
間を講演会後にもちま
した。生徒たちは小副
川院長より遠山先生の
思いなどについて説明
を聞き、学院創設期の
理解を深めました。

なご、今回表彰され
た生徒は、11月22日(火)
にKKR熊本で開催さ
れた第46回熊本県私立学
校振興大会においても別
途表彰されています。

全国優勝表彰式を実施

高校団体の部優勝

剣道部

令和4年度玉電旗
剣道道大会

高島壮右馬(3年)

荒木 悠(3年)

勝本 晃至(3年)

中尾 王真(3年)

緒方 洸成(3年)

福岡 勇馬(3年)

中村 成真(3年)

永本 脩(3年)

長谷川軍治(3年)

菅野 雄太(3年)

吉田 大和(3年)

岩根 正悟(2年)

水野 夢大(2年)

村上 直弥(3年)

永本 脩(3年)

第42回日本海軍伝
競走大会

中村文次郎(3年)

米田寛太郎(3年)

安方 晴真(3年)

田村 悠善(2年)

石橋 智紀(2年)

亀井 響紀(2年)

宮里 兼心(1年)

高校個人の部優勝

剣道部

令和4年度全国高等
学校総合体育大会

高島壮右馬(3年)

令和4年度全国高等
学校総合体育大会

高島壮右馬(3年)

令和4年度全国高等
学校総合体育大会

高島壮右馬(3年)

令和4年度全国高等
学校総合体育大会

高島壮右馬(3年)

令和4年度全国高等
学校総合体育大会

高島壮右馬(3年)

令和4年度全国高等
学校総合体育大会

高島壮右馬(3年)

令和4年度全国高等
学校総合体育大会

高島壮右馬(3年)

令和4年度全国高等
学校総合体育大会

高島壮右馬(3年)

令和4年度全国高等
学校総合体育大会

高島壮右馬(3年)

令和4年度全国高等
学校総合体育大会

高島壮右馬(3年)

令和4年度全国高等
学校総合体育大会

高島壮右馬(3年)

令和4年度全国高等
学校総合体育大会

高島壮右馬(3年)

冬の全国大会に出場
(バスケット・チアダンス)
～皆さまの応援に感謝申し上げます～
今年度冬季に開催さ
れた高校の全国大会に
九州学院男子バスケッ
トボール部とチアダン
ス部が出場しました。
バスケットボール部
は12月24日(土)、東京体
育館のカップヌードル
コートで行われたウイ
ンターカップ2022
1回戦で高校生日本代
表選手を擁する強豪の
正智深谷高校(埼玉)
と対戦。屈指の好カ
ードとの前評判どおり激
しい試合展開となり、
最大9点差の劣勢を3
点差まで詰める意地の
攻撃をみせましたが、
63対66で惜敗しました。
チアダンス部は東京
体育館で開催された全
日本チアダンス選手権
大会で躍動しました。

驚くばかりの生命と恵み

中高校長 阿部 英樹



「今日も新しい朝を
ありますが」と目を
覚ますことに感謝の思
いをもつて一日を始め
る人たちの話を、幾度
となく耳にしています。
た。そのような生き方
ができるのは、きっと何か自分を温かく包み込
む働きかけや導きのようなものを感じ取って
いるからではないでしょうか。

ところで皆さんは「あなたは人知を超えた
偉大な存在を感じたことがありますか」と問
われたらどのように答えますか。

遺伝子研究の第一人者と言われる高血圧の誘
因となる酵素の全遺伝子解読に成功した村上
和雄氏は月刊「致知」の中で述べています。「ヒ
トの設計図は32億もの科学文字で書かれてい
ます。これを本にするとして、1ページ1000語で
1000ページの百科事典が3200冊分に匹
敵する分量になり、その膨大な情報が書き込
まれたDNAの存在によって、私たちはこうし
て生かされているのです。」

続けて彼は「ヒトの遺伝情報1ゲノムの重
さを計算してみたところ、そこにはさらなる驚
きが待っていました。その重さたるや実に1グ
ラムの2000億分の1にすぎないことが分か
ったのです。」と述べています。つまり地球上に
いる約80億人分の遺伝情報の重さにしても、大粒の
お米1粒分0.04g位ということなのです。

ヒトの遺伝情報を基にして、受精卵一個が分
裂して増殖したり寿命が尽きたりしながら、
さまざまな形に分化して60兆個とも37兆個と
も言われる細胞になり、一人の身体を支えてい
るのは驚嘆するばかりです。遺伝子学の泰斗も
驚く生命の奥深くに広がる神秘の世界を垣間
見ると、命に対する畏敬の念を抱かずにはいら
れません。また私には、人知では計り知れない
何か大きな存在が、生命をデザインしているよ
うに思えてなりません。

聖書を読んでいると、神様は人間に繰り返し
語りかけて、その人の人生に関わってくださ
ることが分かってきます。その方が私たちの身
体の中に驚くべき命の源を与え、愛をもって私
たちを生かして導いておられると、生かされ
ていることへの感謝の念と、前に踏み出す勇
気が湧き上がってくるように思います。
今、九州学院で過ごした年月を振り返って
みると、数々の不思議な出会いと導きがあつた
ことに驚きます。聖書に「主の慈しみは決して絶
えない。主の憐れみは決して尽きない。それは朝
ごとに新たになる。」(哀歌3:22)とあります
が、日々新たにされる恵みに感謝の思いでい
っぱいになります。これからも九州学院に連なる
方たちと一緒に「敬天愛人」の歩みを続けたい
と思います。

「九学祭」を3年ぶりに開催！笑顔あふれる充実した2日間

〔一般公開〕

10月29日(土)、九学祭の一般公開を3年ぶりに開催しました。今回は実施規模の都合上、生徒の食パザーは高校2年生のみとし、3年生は除く趣向を凝らした企画を立ち上げ、準備から当日まで熱心に取り組んでいました。九州学院中学校出身の高校生以外、全員が入学後初めての九学祭ということもあり、さまざまな場面で苦勞することもあったようですが、それらも含めて貴重な体験ができたことの喜びや達成感を感じることができました。



〔校内発表〕

10月28日(金)、九州学院3号館ホールおよび各教室で九学祭校内発表会を開催しました。昨年度実施された文化発表会で高校1・2年生の各クラスがクオリティの高い動画や展示物を作成して高評価を得たことを踏まえて、今回の校内発表会でも事前に制作した動画を各クラスで視聴しました。さらに、客席と一体になったライブでのステージ発表を行いました。という生徒たちの要望を受けて、発表の1部は3号館ホールから生中継されました。ホールには高校3年生の1部が参集し、渾身の各発表に対して大きな拍手を送りました。

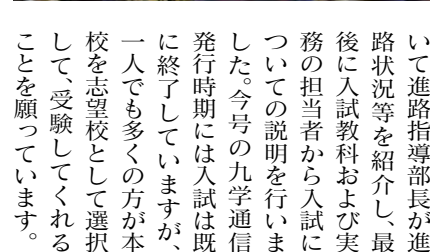


全国大会・九州大会で優勝！

10月9日(土)、鳥取県倉吉市陸上競技場を発売とする第42回日本海駅伝競走大会(7区間・42.195km)が開催され、陸上競技部駅伝チームが2時間5分11秒の好記録で見事優勝しました。1区の永本脩選手(3年)、4区の吉田大和選手(3年)、5区の岩根正悟選手(2年)の3名は個人記録でも区間賞の大活躍でした。さらに駅伝チームは11月19日(土)、鹿児島県指宿市宮地陸上競技場を発売とする男子第75回全九州高等学校駅伝競走大会(7区間・42.195km)でも、2時間6分52秒で3年ぶり12回目の栄冠に輝きました。5区の迫敏太選手(2年)と7区の菅野雄太選手(3年)が区間賞を獲得するなど安定した快走での優勝でした。なお、迫選手は10月16日(日)にSAGAスタジアムで開催された全九州高等学校新人陸上競技大会3000mSC決勝でも優勝する見事な成績を収めました。

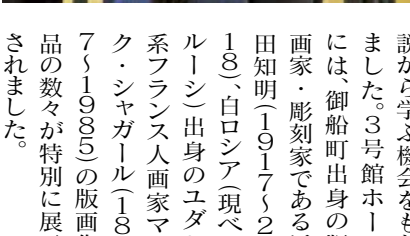
高校入試説明会を開催

11月12日(土)、本校舎において、2023年度九州学院高等学校入試説明会を開催し、多くの中学3年生が参加しました。放送部の進行で行われた説明会では、お祈りや挨拶に続いて進路指導部長が進路状況等を紹介し、最後に入試教科および実務の担当者から入試についての説明を行いました。今号の九学通信発行時期には入試は既に終了していますが、一人でも多くの方が本校を志望校として選択して、受験してくれることを願っています。



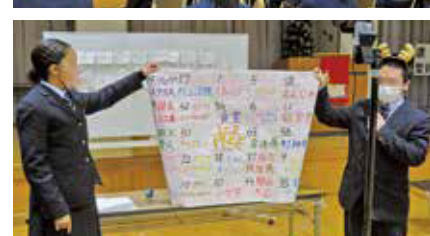
芸術鑑賞『スクールミュージアム』

11月21日(月)、中高は2022年度芸術鑑賞を校内で行いました。今回は熊本県立美術館が主催する『スクールミュージアム』実施校に本校が選定されたことをうけて、美術作品の鑑賞と学芸員による解説から学ぶ機会をもちました。3号館ホールには、御船町出身の版画家・彫刻家である浜田知明(1917~2018)、白ロシア(現ベラルーシ)出身のユダヤ系フランス人画家マルク・シャガール(1887~1985)の版画作品の数々が特別に展示されました。



「神やまがともにつくだる」クリスマス行事

九州学院西門そばで毎年恒例のクリスマスイルミネーション点灯式が、多くの学院関係者が参加するなか厳かに執り行われました。式では中高吹奏楽部、敬愛会(高校宗教部など)多くの生徒が準備や奉仕にあたりました。緒方博明育友会会長とこども園園児代表がスイッチを押すと、夕闇の中に鮮やかな灯りが浮かび上がり、一帯は美しさと感動に包まれました。



小副川幸孝院長・チャレンがクリスマススの意味を聖書から語り、神やまが私たちとともにいてくださることの重要性を説きました。第2部の祝会では、12月16日(金)に行われたこども園(みどり)クリスマススの映像と、敬愛会メンバーによる劇を鑑賞しました。その後は中高に分かれてプロگرامが進められ、各生徒会役員が準備した特別企画(ビンゴ大会等)が実施されました。

また、これらの学校行事とは別に、敬愛会(男子寮)のクリスマス礼拝が、12月6日(火)に九州学院プラウン・メモリアル・チャペルで行われています。救い主イエスさまの御降誕を祝い、その意味を学ぶ機会が、九州学院では継承されています。

○今回のクリスマス献金は計459,366円でした。感謝して報告いたします。この献金は九州学院が継続して支援していますチャイルドスポンサーシップのプログラム等に用いさせていただきます。

ヤクルト村上選手(S70回) 受賞祝賀会を開催 ～県民栄誉賞も受賞～

昨季史上最年少の三冠王・日本選手のシーズン最多56本塁打など多くの記録を塗り替える偉業を成し遂げた、ヤクルト村上宗隆選手を祝う「2022タイトル受賞祝賀会」(九学野球部OB会主催)が、12月26日に熊本ホテルキャッスルで開催されました。

祝賀会には、現役の九州学院OBのプロ野球選手らを始め関係者約350人が参加し、若きスーパースターの偉業をたたえました。村上選手は「来年はチームの(セ・リーグ)3連覇と日本一奪還を目標とし、個人ではキャリアハイを目指したい」と決意を述べました。

また、本塁打を打つごとに熊本城の復興支援のために積み立てた寄付金の目録を地元関係者に手渡し、いつも応援してもらった故郷熊本に感謝の意を示しました。その二日後の28日には、熊本県庁を表敬訪問し「熊本県民栄誉賞」の贈呈式に臨みました。同賞は史上10組目の最年少の受賞者で、プロ野球関係者では川上哲治氏、秋山幸二氏に次ぐ3人目の受賞となりました。熊本県のPRキャラクター「くまモン」からもオリジナルの金メダルを贈



られました。太晦日にはNHK紅白歌合戦の審査員の一人に選ばれるなど、2022年の流行語大賞で「村神様」が大賞に選ばれるに相応しい大活躍の一年となりました。



チャペル成人式 216名の新成人が参列

1月9日(月・祭日)、式が九州学院フラウ恒例の「チャペル成人式」。

この成人式は九州学院同窓会「若手の会」が主管するもので、二十歳を迎える卒業生を母校へ迎え、恩師・先輩・家族たちでお祝いするものです。

毎年参加者が増え、今年はコロナ禍8波の感染拡大の不安な中にもかかわらず、S73回・J71回の卒業生216人を含む同窓生関係者・ご家族など300名余りの人が参加し、小副川院長・チャプレンの説教や賛美歌斉唱で厳粛な祝福礼拝が行われました。礼拝の後、阿部九州学院中高校長、廣島同窓会会長、清田若手の会長、緒方育友会会長の祝辞を頂き、それに応えて岩田花佳元生徒会長が礼の挨拶をし、最後に記念写真撮影をしてお開きとなりました。

20歳の成人の皆さんの今後のご健勝とご活躍を心からお祈り致します。お世話をお願いした九州学院若手の会のS51回、S52回の有志の皆さん、本当にお疲れ様でした。



新卒生代表・同窓会役員 恒例の懇親会を開催

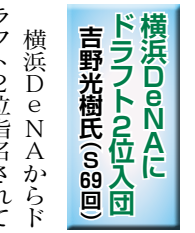
1月19日(木)、1号館会議室において九州学院同窓会主催による「新卒生代表と同窓会役員との懇親会」が行われました。この催しは、まもなく同窓会の新たな仲間となる高校3年生の各クラスから選出された世話役と同窓会幹部との連携強化と親睦を目的に、毎年3年生の3学期に実施しているものです。



吉野は最速150キロを誇る本格派。九学時代は控え投手で、村上宗隆内野手(S70回・ヤクルト)の1年先輩、伊勢大夢投手(S68回・DeNA)の1年後輩です。九学在学中は故障で苦しみました。上武大進学後に頭角を現し始め、3年時には主戦級に成長しました。ところが、再びケガのため4年時はほぼ治療に専念するも秋に



横濱DeNAからドラフト2位指名されたトヨタ自動車の吉野光樹投手(S69回・2017年卒)の同球団への入団が11月22日に決まりました。

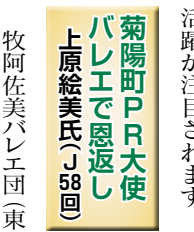


横濱DeNAにドラフト2位入団
吉野光樹氏(S69回)

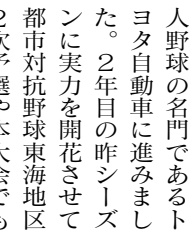
年に渡米しデトロイトで旅行会社を経営しながら道場を開き指導をしています。現在は全米剣道連盟最高顧問、さらに国際剣道連盟副会長という重責を負い、剣道の普及に尽力しています。



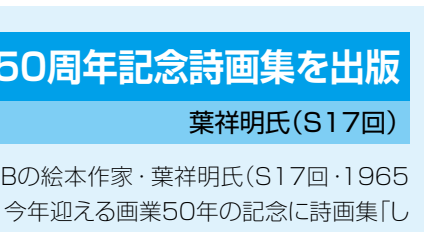
牧阿佐美バレエ団東京)でプロに指導する「アシスタント・バレエ・ミストレス」を務めている上原絵美さん(J58回)が、この度、菊陽町のPR大使に任命されました。PR大使は菊陽町の魅力を県内外の多くの皆さんに



菊陽町PR大使 バレエで恩返し 上原絵美氏(J58回)



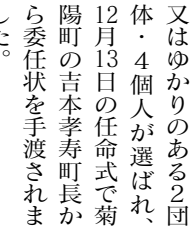
は実戦復帰するまでに回復し、その潜在能力が高く評価されて社会人野球の名門であるトヨタ自動車に進みました。2年目の昨シーズンは、菊陽町の出身、菊陽町の吉本孝寿町長から委任状を手渡されました。



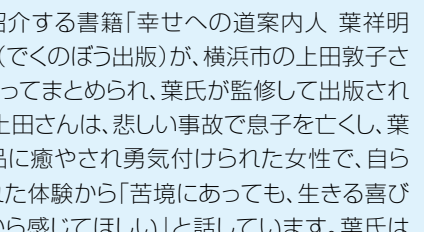
北京五輪のメダリストの末續慎吾選手(ENGLE RUN)が、昨年10月16日に北九州市立本城陸上競技場開催された「北九州カーニバル」40歳以上男子100メートル競走において新記録を樹立しました。これまでの記録は2021年5月の日体大競技会で自身が出した10秒78(日本最高)でしたが、今回はそれを0.01秒縮めた10秒77で見事日本記録を更新しました。今後、録を更新し、さらなる活躍が期待されます。



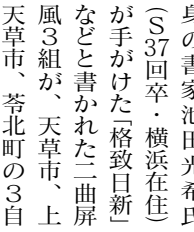
男子百米40歳以上日本最高更新 末續慎吾氏(S51回)



故郷天草へ寄贈の二曲屏風書を制作
池田光希氏(S37回)



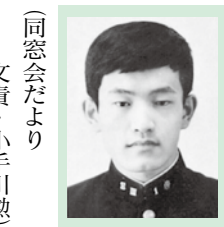
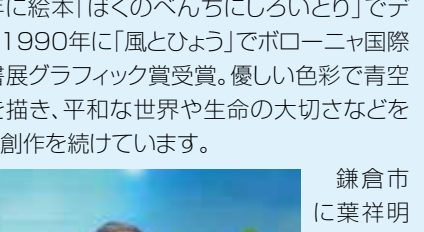
野球部OBで天草出身の書家池田光希氏(S37回卒・横濱在住)が手がけた「格致日新」などと書かれた二曲屏風3組が、天草市、上天草市、苓北町の3自治体に寄贈されました。これは東京在住の天草出身者の集い「東京天草郷友会」から創立120周年の記念事業の一環として贈られたものです。



池田氏は明治神宮での「2019建国記念式典」や他の式典などで奉祝揮毫を披露するほどの著名な書家です。また、現在「エコ再生紙振興会」の事務局長としても活躍中です。



鎌倉市に葉祥明美術館、郷里熊本に葉祥明阿蘇高原絵本美術館を開いています。



北朝鮮拉致被害者 松木薫氏(S24回)の救出を 松木氏は1980年スペイン留学中に拉致され、現在も北朝鮮に抑留。弟の松木信宏氏(S43回)が拉致被害者家族会で活動中。

九州学院大同窓会 総会・懇親会 ～九学への想い世代を超えて～ 日時：2023年4月21日(金) 場所：熊本ホテルキャッスル



☆「マチノガッコー」プロジェクトに高校生が参加☆ 九州学院チームは生命の大切さを子どもたちに伝える

12月18日(日) 熊本市中央区のサンロード新市街において「マチノガッコー」プロジェクトが実施されました。このプロジェクトは、未来の熊本を担っている小学生を対象に、高校生が主体となって、熊本市中心部に位置する「まちなか」を活用して「学びの居場所」を創り出すものです。プロジェクト開催に



あたるは一般社団法人マチノミライ、熊本大学まちなか工房、地域創生C.O.デザイン研究所の皆さまにご協力いただき、三者共催で実施となりました。今回のプロジェクトには九州学院高校熊本中央高校、熊本商業高校、尚綱高校の計4校の高校生有志が参加して、2022年9月より各校においてワークシヨップの開催や企画案を行いました。九州学院高校チームは「集まれ！動物のマチ」と題して、犬や猫、鶏(ウズラ)、亀などの動物とのふれあいや、それらの動物の生態紹介と保護猫の譲渡活動についての授業を行い、参加した小学生に生命の大切さを伝えました。また、この企画実現にあたっては、学校法人昭徳学園九州動物学院(熊本市中央区・徳田竜之介学院長)S32回・1980年九州学院高校卒業(さまに多大なるご協力をいただいています。授業に引き続いて「まちなかの動物探し

が行われ、高校生のサポートのもと小学生がチャレンジしました。「まちなか」には数多くの看板やオブジェがあり、それらのなかには動物がモチーフとなったデザインが用いられているものが散見されます。そこで動物を探し、その生態紹介と保護猫の譲渡活動について、普段なかなか気にかけることがないマチの隅々にまで注目し、マチの魅力を再発見することに繋げる取り組みを行ったもので、所期の目的を達成することができました。なお、本企画の実行にあたって、洋菓子店SWISSさまに商品のご提供をいただきました。九州動物学院さまにも、感謝して厚く御礼申し上げます。

九州学院は1990年に、九州女学院(現ルーテル学院中高)とともに、南オーストラリア州にありますインマヌエルカレッジと姉妹校として締結し、交換留学生(1年間)や研修旅行団の派遣を行っています。また、現在では、この交換留学は短期(数ヶ月)も可能となっており、一人でも多くの生徒が留学を経験できるよう環境整備が進められています。新型コロナウイルス感染症の世界的流行による出入国制限の影響で約1年半の間、インマヌエルカレッジとの交換留学は中断されていましたが、2022年11月より本年1月までの約3ヶ月間、キラ

さんやクインさんの2人が短期留学生として九州学院で共に学びました。次年度にかけて長期留學生の相互派遣再開も決定しています。この他にも九州学院では、2018年に米国カリフォルニア州にある復活ルーテル教会への研修旅行団派遣も始まり、2022年には米国ネブラスカ州立大学カーニール校と締結して、同校への進学や留学が次年度から本格的に始動します。また、韓国浦市にある文泰学園とも長年にわたって相互に交流団を派遣してきた歴史があり、この再開も含めて九州学院の国際交流のさらなる発展が期待されています。

高校3年「学年発表会」開催！ 卒業を前に学年全体で楽しいひととき

12月22日(水)、高校3年生は全校行事後に、総合体育館で学年発表会の時をもちました。この学年の生徒たちは行事において新型コロナウイルスの影響を特に受けており、過去2年間、体育祭と九学祭のみならず、1年次の一泊研修会や研修旅行も中止となるなど、学年揃っての行事がほぼありませんでした。



卒業が間近に迫り、残り僅かとなった九学での生活を少しでも充実させて思い出に残るものにしたいとの声が生徒たちから上がったことをうけて、今回の企画が実現しました。ステージと客席との距離を確保して行われた発表では、生徒による歌唱やダンスなどに加えて、教職員有志によるパフォーマンスも実施しました。今回も熊本中央消防署の皆さまに講師をお願いして、緊急時における適切な行動の理解と実践についてご指導いただきました。生徒たちは3号館ホールおよび各教室で、倒れている人を発見した際の意識反応や呼吸状態の確認、救急要請の適切な伝達、胸骨圧迫やAEDの正しい使い方など一次救命処置法を学びました。

AED・心肺蘇生法講習会

12月19日(月)、中高保健委員会主催でAEDと心肺蘇生法の講習会を実施しました。今回も熊本中央消防署の皆さまに講師をお願いして、緊急時における適切な行動の理解と実践についてご指導いただきました。生徒たちは3号館ホールおよび各教室で、倒れている人を発見した際の意識反応や呼吸状態の確認、救急要請の適切な伝達、胸骨圧迫やAEDの正しい使い方など一次救命処置法を学びました。

熊本中央消防署の皆さまに講師をお願いして、緊急時における適切な行動の理解と実践についてご指導いただきました。生徒たちは3号館ホールおよび各教室で、倒れている人を発見した際の意識反応や呼吸状態の確認、救急要請の適切な伝達、胸骨圧迫やAEDの正しい使い方など一次救命処置法を学びました。



冬恒例の「献血キャンペーン」が開催されました。九州学院高校の生徒と教職員は長年にわたって献血に協力をしてきた実績があり、今回も呼びかけに応えた高校3年生を中心に約70人が献血を行いました。依然として全国的に輸血用血液の大幅な不足状態が報じられており、今回の献血が少しでもお役に立てることを願っています。

育友会活動報告(10月~1月)

①秋の講演会を開催

11月18日(金) 3年ぶりとなる育友会秋の講演会を開催しました。講師として九州学院百周年記念歴史資料・情報センター長の藤本誠先生を迎えて「太平洋

戦争終結に貢献した3人の九州学院OB」の演題でご講演をいただきました。学院の歴史を詳細に調査されている先生のお話に、チャペルに集った聴衆一同は感銘を受けました。

②九学祭に出店参加

10月29日(土)、九学祭の一般公開に際して、中学校(合同)・高1・高2・高3・執行部の5団体の出店を行いました。3年ぶりの九学祭開催とあって、準備から当日までさまざまな苦勞もありましたが、子どもたちの大切な一日を

盛り上げることができました。各クラス役員さんをはじめ、ご協力いただきました皆さまに御礼申し上げます。

③クリスマス行事支援
好評を博しています。クリスマスイルミネーションを本年度も提供しました。点灯期間中

④共通テスト受験激励
12月22日(水)、大学入学共通テスト受験生の激励会を開催して、緒方博明会長が激励の言葉をかけ、育友会提供「合格祈念グッズ」を受験生に贈呈しました。※中学3年生全員にも別途贈呈しています。

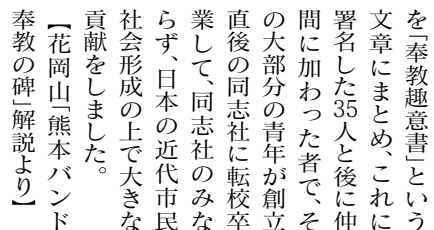
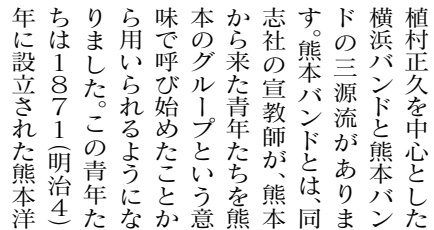
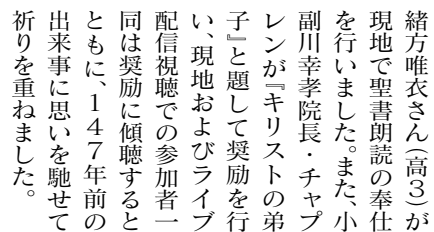
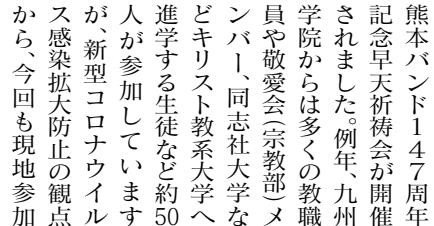
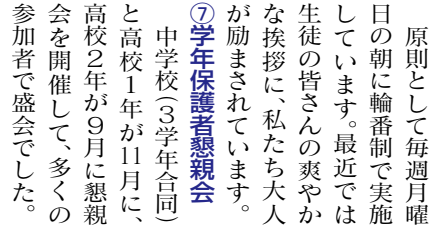
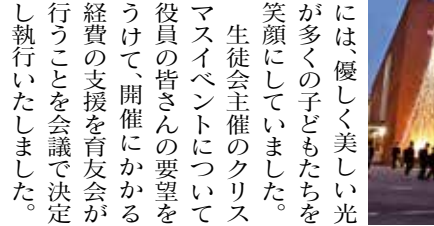
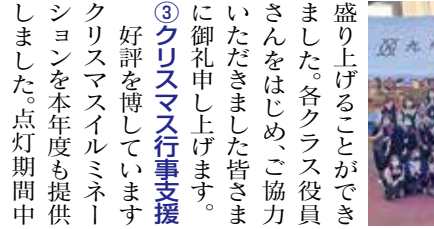
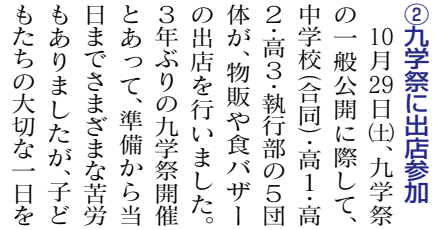
⑤高3卒業DVD贈呈
九州学院高校を卒業する高校3年生の皆さまに、卒業記念DVD「S75回生の軌跡」を制作して贈呈します。3年間の高校生活の思い出を編集しました。※贈呈は2月下旬予定

⑥朝のあいさつ運動
原則として毎週月曜日の朝に輪番制で実施しています。最近では生徒の皆さんの爽やかな挨拶に、私たち大人が励まされています。

⑦学年保護者懇親会
中学校(3学年合同)と高校1年が11月に、高校2年が9月に懇親会を開催して、多くの参加者で盛会でした。

⑧熊本バンド
1月30日(月)午前6時30分より、熊本市西区の花岡山山頂において熊本バンド147周年記念早天祈禱会が開催されました。例年、九州学院からは多くの教職員や敬愛会(宗教部)メンバー、同志社大学などキリスト教系大学へ進学する生徒など約50人が参加しています。が、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今回も現地参加

披露されました。短時間ではありましたが、出演者と観衆が一体となった各発表に、会場は大いに盛り上がり、クラスの垣根を越えた楽しいひとときを過ごすことができました。



九州学院みどり幼稚園

誇りを胸に

認定こども園九州学院
みどり幼稚園園長 松田正二郎

今から35年前、郡部の小学校から熊本市の1学年10クラス、生徒数1200人の中学校に赴任しました。当時熊本市の多くの中学校はいわゆる「荒れた状態」で、私の赴任した学校も廊下には火のついたタバコが捨てられ、壁は落書きや穴だらけ、生徒同士はもちろん教師の暴力も珍しくはない残念な状態でした。生徒のことを考えると一刻も早い改善が求められていました。

今年度、九学は野球部の甲子園出場をはじめとする部活動の活躍や村上宗隆選手の活躍にわき、ネブラスカ州立大学との協定締結など様々な面で成果をあげました。これらは私たち九学の仲間にとつて誇りであり皆の自信につながりました。今後の九学の発展に大きく寄与するのではないのでしょうか。

職員で話し合い、まず取り組んだのは壁の穴をふさぎ落書きを消してしまふことです。穴も中途半端にふさぐのではなく壁紙まで自分たちで貼りなおし、何もなかった状態にリセットするのです。落

伸び、まさしく日本一の学校ができたと思っています。

授業の改善・生徒会の活性化など様々な取り組みを行う中で生徒たちの目に光が戻り、中体連でも多くの種目で優勝旗を獲得し、授業にも活気が出てきました。中には日本一まではいきませんでした。全国大会で団体準優勝まで行った部活も出てきました。学力も

「美しい学校、強い学校、楽しい学校」を作り、そんな学校を誇りに思えること、学校を愛すること。これは自分自身に誇りを持つことにもつながり行動が大きく変わってきます。

「〇〇中学校は素晴らしい学校なんだ。誇りに思えるような日本一の学校をみんなで作ろう！」でした。当初「学校に行くのが嫌だ」と言っていた生徒たちも次第に手伝ってくれるようになってきました。

今年度、九学は野球部の甲子園出場をはじめとする部活動の活躍や村上宗隆選手の活躍にわき、ネブラスカ州立大学との協定締結など様々な面で成果をあげました。これらは私たち九学の仲間にとつて誇りであり皆の自信につながりました。今後の九学の発展に大きく寄与するのではないのでしょうか。

職員で話し合い、まず取り組んだのは壁の穴をふさぎ落書きを消してしまふことです。穴も中途半端にふさぐのではなく壁紙まで自分たちで貼りなおし、何もなかった状態にリセットするのです。落

今年度、九学は野球部の甲子園出場をはじめとする部活動の活躍や村上宗隆選手の活躍にわき、ネブラスカ州立大学との協定締結など様々な面で成果をあげました。これらは私たち九学の仲間にとつて誇りであり皆の自信につながりました。今後の九学の発展に大きく寄与するのではないのでしょうか。

職員で話し合い、まず取り組んだのは壁の穴をふさぎ落書きを消してしまふことです。穴も中途半端にふさぐのではなく壁紙まで自分たちで貼りなおし、何もなかった状態にリセットするのです。落

今年度、九学は野球部の甲子園出場をはじめとする部活動の活躍や村上宗隆選手の活躍にわき、ネブラスカ州立大学との協定締結など様々な面で成果をあげました。これらは私たち九学の仲間にとつて誇りであり皆の自信につながりました。今後の九学の発展に大きく寄与するのではないのでしょうか。

職員で話し合い、まず取り組んだのは壁の穴をふさぎ落書きを消してしまふことです。穴も中途半端にふさぐのではなく壁紙まで自分たちで貼りなおし、何もなかった状態にリセットするのです。落

今年度、九学は野球部の甲子園出場をはじめとする部活動の活躍や村上宗隆選手の活躍にわき、ネブラスカ州立大学との協定締結など様々な面で成果をあげました。これらは私たち九学の仲間にとつて誇りであり皆の自信につながりました。今後の九学の発展に大きく寄与するのではないのでしょうか。

職員で話し合い、まず取り組んだのは壁の穴をふさぎ落書きを消してしまふことです。穴も中途半端にふさぐのではなく壁紙まで自分たちで貼りなおし、何もなかった状態にリセットするのです。落

今年度、九学は野球部の甲子園出場をはじめとする部活動の活躍や村上宗隆選手の活躍にわき、ネブラスカ州立大学との協定締結など様々な面で成果をあげました。これらは私たち九学の仲間にとつて誇りであり皆の自信につながりました。今後の九学の発展に大きく寄与するのではないのでしょうか。

職員で話し合い、まず取り組んだのは壁の穴をふさぎ落書きを消してしまふことです。穴も中途半端にふさぐのではなく壁紙まで自分たちで貼りなおし、何もなかった状態にリセットするのです。落

今年度、九学は野球部の甲子園出場をはじめとする部活動の活躍や村上宗隆選手の活躍にわき、ネブラスカ州立大学との協定締結など様々な面で成果をあげました。これらは私たち九学の仲間にとつて誇りであり皆の自信につながりました。今後の九学の発展に大きく寄与するのではないのでしょうか。

職員で話し合い、まず取り組んだのは壁の穴をふさぎ落書きを消してしまふことです。穴も中途半端にふさぐのではなく壁紙まで自分たちで貼りなおし、何もなかった状態にリセットするのです。落

今年度、九学は野球部の甲子園出場をはじめとする部活動の活躍や村上宗隆選手の活躍にわき、ネブラスカ州立大学との協定締結など様々な面で成果をあげました。これらは私たち九学の仲間にとつて誇りであり皆の自信につながりました。今後の九学の発展に大きく寄与するのではないのでしょうか。

職員で話し合い、まず取り組んだのは壁の穴をふさぎ落書きを消してしまふことです。穴も中途半端にふさぐのではなく壁紙まで自分たちで貼りなおし、何もなかった状態にリセットするのです。落

今年度、九学は野球部の甲子園出場をはじめとする部活動の活躍や村上宗隆選手の活躍にわき、ネブラスカ州立大学との協定締結など様々な面で成果をあげました。これらは私たち九学の仲間にとつて誇りであり皆の自信につながりました。今後の九学の発展に大きく寄与するのではないのでしょうか。



卒園生の大西市長がお話に来られました



今年も素敵なクリスマスができました

2 年生が 3 年ぶりの沖縄研修旅行へ



九中
コーナー

11月8日(火)～11日(金)、3年ぶりととなる沖縄研修旅行を3泊4日で実施することができました。

鑑賞やシーサーの絵付け体験をし、沖縄の独特の文化に触れました。シーサーの絵付け体験ではそれぞれ個性的な作品を作ることができました。

2日目は午前中に平和祈念資料館、ひめゆり資料館を訪問しました。平和祈念資料館では語り部の方の平和講話を聞き、改めて戦争の悲惨さと平和の大切さを学ぶことができました。

3日目は沖縄の自然に触れる1日となりました。午前中はピオスの丘を訪れ湖水鑑賞船に乗り、亜熱帯特有の植物や動物を鑑賞しました。また、下船後は園内の島ヤギなどの動物たちと触れ合うこともできました。

今年もビンゴゲームで大盛り上がり

12月21日(水)のクリスマス礼拝・祝会の後、今年度で3回目となる中学校ビンゴ大会を実施しました。16マスに分けられた広用紙を各クラス1枚用意し、数字の代わりに九州学院に入りました。今年のビンゴワードはクラッシュのアンケートで生徒から募ったもので、村神様やブラウンチャペルなど九学ならではのワードがたくさん集まりました。

当日は学習室から各クラスにZOOMを使って生徒会役員がくじを引く様子の中継して行いました。くじを引くたびにクラス中が一喜一憂し、各クラスからは歓声と悲鳴が聞こえるなどビンゴ大会は大いに盛り上がり、大いに盛り上がりました。企画・準備・運営を行った生徒会役員の皆さんのおかげで、2学期の最後に素敵な時間を過ごせました。また、賞品購入の資金を出していただいた育友会の皆様にもこの場をお借りし改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



(中学校)学友会活動成績
(9月1日～12月31日)

- 柔道部
県中学校新人柔道錬成大会 (10月29～30日)
▽山鹿市総合体育館
▽男子団体 2位
▽女子団体 1位
第12回山鹿温泉祭中学校新人柔道体重別選手権大会 (10月31日～11月6日)
▽山鹿市総合体育館
▽男子個人60kg級 3位 下村 修平(2年)
▽男子個人81kg級 3位 増田 幸大(1年)
▽男子個人90kg級 3位 増田 幸大(1年)

- 剣道部
3位 東 大遼(2年)
▽男子個人90kg超級 3位 楠本 夢人(2年)
▽女子個人48kg級 3位 野住はるか(2年)
▽女子個人57kg級 1位 石橋 菜々(2年)
九州地区中学校柔道優勝大会 (12月3～4日)
▽諫早市小野体育館
▽男子団体 2位
▽女子団体 5位

- 熊本市中学生学年別剣道大会 (9月10日)
▽城南総合スポーツセンター
▽個人2年の部 1位 石橋 智紀(2年)
▽個人1年の部 1位 落合 晴真(1年)
2位 宮里 兼心(1年)
3位 嵩 翔太(1年)
第18回外城攻防少年剣道大会 (10月15日)
▽菊池市総合体育館
▽団体2位
全国道場少年剣道選手権大会 (10月16日)
▽ハークアリーナ小牧
▽中学生男子の部 3位 中村文次郎(3年)
県中学校剣道大会(新人戦) (10月23日)

- 空手道部
第17回熊本県中学生空手道新人大会 (11月13日)
▽青北町民総合センター
▽2年生男子個人形 3位 下村 大翔(2年)
▽1年生男子個人形 3位 神山 紀仁(1年)
▽1年生女子個人形 3位 後藤 璃乃(1年)

- 弓道部
第30回熊本県中学生新人弓道大会 (11月20日)
▽八代市立第三中学校グラウンド
▽2位

- 水泳部
短水路熊本県秋季選手権水泳競技大会(10月15～16日)
▽アクアドームくまもと
▽男子100m背泳ぎ 3位 大澤 侑生(3年)
▽男子200m背泳ぎ 1位 大澤 侑生(3年)
▽男子200m個人メドレー 6位 福田 悠雅(1年)
▽女子200m自由形 5位 石川 史乃(1年)
▽女子400m自由形

- 道大会 (11月20日)
▽南部総合スポーツセンター(弓道場)
▽男子団体 2位
▽男子個人2年生の部 5位 河田 怜久(2年)
第35回熊本県スイミングクラブ協会水泳競技大会 (12月3～4日)
▽アクアドームくまもと
▽13～14歳男子平泳ぎ 8位 福田 悠雅(1年)
▽13～14歳男子200m個人メドレー 2位 福田 悠雅(1年)
▽13～14歳女子50m自由形 6位 石川 史乃(1年)
▽13～14歳女子100m自由形 4位 石川 史乃(1年)
▽13～14歳女子200m自由形 2位 石川 史乃(1年)
7位 田上 佳凛(1年)

学友会活動成績
(9月1日～12月31日)

陸上競技部

第50回熊本県高等学校
別陸上競技大会

(9月3日)

〔えがお健康スタジアム〕

〔男子〕

▽1年 3000m

1位 堀山 一颯1年

4位 岩崎松太郎1年

▽2年 3000m

1位 迫 紘太2年

▽1年 3000m

2位 一ノ瀬 紘太1年

▽2年 1500m

2位 岩根 正悟2年

6位 水野 夢大2年

〔女子〕

▽2年 1000m

1位 小山栄美理2年

2位 坂井 彩華2年

▽1年 1000m

5位 大石 南1年

▽4×100mR

3位 後藤・小山・坂井・吉村

▽4×400mR

3位 後藤・小山・坂井・吉村

第40回全九州高等学校陸上競技新人対校選手権大会熊本県予選大会

(9月16～21日)

〔えがお健康スタジアム〕

〔男子〕

▽1500m

1位 岩根 正悟2年

5位 水野 夢大2年

▽5000m

1位 堀山 一颯1年

▽3000m

2位 迫 紘太2年

5位 一ノ瀬 紘太1年

〔女子〕

▽1000m

1位 迫 紘太2年

3位 坂井 彩華2年

4位 小山栄美理2年

▽2000m

3位 小山栄美理2年

5位 坂井 彩華2年

▽1000m

1位 鳥丸 沙葵2年

5位 太田 葵1年

▽400mH

1位 鳥丸 沙葵2年

▽4×100mR

3位 大石・鳥丸・小山・坂井

▽4×400mR

3位 坂井・小山・太田・鳥丸

第27回九重町長杯九州選
抜高等学校陸上競技大会

(9月24日)

〔大分県九重町千丁無田周
回コース〕

▽2位

菅野・佐藤・水野・船越・一ノ瀬・宇野・岩崎

▽第6区 区間賞

宇野 雄哉(1年)

グッドハーツ杯 第1回
球磨駅伝競走大会

(9月25日)

〔多良木町役場周辺〕

▽2位

永本・堀山・村上・吉田・長谷川・迫・岩根

▽第1区 区間賞

永本・長谷川・菅野・吉田・岩根・水野・村上

▽第4区 区間賞

吉田 大和(3年)

▽第5区 区間賞

岩根 正悟2年

第77回国民体育大会

(10月10日)

〔カンセキスタジアムとちぎ〕

▽男子 3000m

1位 堀山 一颯1年

5位 堀山 一颯1年

全九州高等学校体育大会

第40回全九州高等学校新
人陸上競技大会

(10月14～16日)

〔SAGAスタジアム〕

▽男子 1500m

6位 岩根 正悟2年

▽男子 5000m

2位 堀山 一颯1年

▽男子 3000m

1位 迫 紘太2年

〔沖縄県体育協会のポロソ
ン会館〕

▽女子 1000m

2位 村上 雅喜(1年)

▽Aパート ビン級

2位 村上 雅喜(1年)

▽Bパート ライト級

3位 山口 眞世(1年)

▽フエザール級

1位 中川 杏(1年)

第77回国民体育大会

(10月5～9日)

〔宇都宮競輪場〕

▽ケイリン

3位 福永 隼人(3年)

バスケットボール部

第75回全国高校バスケット
ボール選手権(ウインター
カップ)熊本県予選

(10月15～16・22・29日)

〔玉名市総合体育館〕

▽1位

永本・堀山・村上・吉田・長谷川・迫・岩根

第77回国民体育大会

(10月23～3日)

〔日環アリーナ栃木〕

▽ベスト16

熊本県高等学校新人ボク
シング競技大会

(10月27～30日)

〔熊本県立総合体育館〕

〔男子〕

▽Aパート ビン級

1位 村上 雅喜(1年)

▽Aパート ライト級

2位 山口 眞世(1年)

▽Bパート ライト級

1位 大前 秀虎(1年)

▽Bパート バンタム級

3位 高松 優愛(1年)

〔女子〕

▽ビン級

2位 新藤 理子(2年)

▽ライトフライ級

3位 南野 希月(1年)

▽フエザール級

1位 中川 杏(1年)

九州高等学校新人ボクシ
ング競技大会

(11月18～20日)

〔沖縄県体育協会のポロソ
ン会館〕

〔男子〕

▽Aパート ビン級

2位 村上 雅喜(1年)

▽Bパート ライト級

3位 山口 眞世(1年)

▽フエザール級

1位 中川 杏(1年)

第77回国民体育大会

(10月5～9日)

〔宇都宮競輪場〕

▽ケイリン

3位 福永 隼人(3年)

ハンドボール部

第77回国民体育大会

(10月5～6日)

〔マルフ・アリーナとちぎ〕

▽5位

サニックスカップU17交
流大会2022

(10月14～16日)

〔グロバルアリーナ体育館〕

▽5位

500mナード賞受賞

第51回九州高等学校ハンド
ボール選抜大会兼第46回
全国高等学校ハンドボール
選抜大会熊本県予選大会

(11月5～20日)

〔山鹿市総合体育館〕

▽3位

熊本県高等学校弓道競技
大会兼第30回九州高等学
校弓道新人選手権大会県
予選

(10月8～9日)

〔熊本市植木弓道場〕

▽男子団体1位

▽女子団体2位

第30回九州高等学校弓道
新人選手権大会

(10月29～30日)

〔佐賀県多久市緑が丘弓道場〕

▽男子団体出場

▽女子団体出場

▽男子個人出場

▽女子個人出場

内田 悠誠2年

ラグビー部

県下高校1年生交流試合

(9月3日)

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

柔道部

第102回全国高等学校ラ
グビーフットボール大会熊
本県予選

(11月13日)

〔水前寺陸上競技場〕

▽2位

熊本県高等学校自転車競
技新人大会

(10月29～30日)

〔久留米競輪場〕

▽1kmタイムトライアル

1位 中原 湊(2年)

▽3kmインディヴィデュアル

1位 中原 湊(2年)

全九州高等学校自転車競
技新人大会(11月11～13日)

〔久留米競輪場〕

▽1kmタイムトライアル

3位 中原 湊(2年)

▽ケイリン

3位 中原 湊(2年)

第77回国民体育大会

(10月5～6日)

〔マルフ・アリーナとちぎ〕

▽5位

サニックスカップU17交
流大会2022

(10月14～16日)

〔グロバルアリーナ体育館〕

▽5位

500mナード賞受賞

第51回九州高等学校ハンド
ボール選抜大会兼第46回
全国高等学校ハンドボール
選抜大会熊本県予選大会

(11月5～20日)

〔山鹿市総合体育館〕

▽3位

熊本県高等学校弓道競技
大会兼第30回九州高等学
校弓道新人選手権大会県
予選

(10月8～9日)

〔熊本市植木弓道場〕

▽男子団体1位

▽女子団体2位

第30回九州高等学校弓道
新人選手権大会

(10月29～30日)

〔佐賀県多久市緑が丘弓道場〕

▽男子団体出場

▽女子団体出場

▽男子個人出場

▽女子個人出場

内田 悠誠2年

ラグビー部

県下高校1年生交流試合

(9月3日)

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

▽1位

〔熊本県立大学グラウンド〕

空手道部

熊本県高等学校空手道新
人大会

(10月8～9日)

〔文徳高校体育館〕

▽男子団体形 1位

▽男子団体形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位

▽男子個人形 1位